

資 料

○八潮市中央一丁目交差点道路陥没救助事案クロノロジー（令和7年1月28日～5月2日）

日付	時間	内容
01月28日	09:49	覚知（119番通報入電）
	09:50	救助指令（交通）
	09:53	出動 八潮指揮1・八潮救助1・八潮1・八潮2・救急八潮3
	09:54	八潮指揮1から出動途上における無線にて活動方針 人命救助最優先・隊員の安全管理徹底・状況の早期把握
	09:55	各隊現場到着
	09:56	八潮指揮1からの無線状況報告 「関係機関に大至急連絡願いたい」と情報指令課に報告 現場指揮本部を設置
	09:59	八潮指揮1からの状況評価報告
	10:04	ドクターカー派遣決定
	10:05 頃	ガス検知器（検知媒体：酸素、一酸化炭素、硫化水素、可燃性ガス）を陥没穴内部へ設置 検知結果に異常なし
	10:08	草加救助1・草加はしご1の増隊要請
	10:13	救急八潮1の増隊要請
	10:16	中州救助法により、隊員が陥没穴内部に進入
	10:20	埼玉県に火災・災害等即報第1報送付
	10:24	救急八潮1現着
	10:25	陥没穴内部に進入時要救助者は目視出来ないが呼びかけに反応あり
	10:28	草加救助1・草加はしご1現着
	10:33	隊員が陥没穴内部に進入（計2名が陥没穴内で活動）
	10:37	東京ガス要請
	10:40	陥没穴内部の崩落により隊員2名緊急退避
	10:43	活動方針の再協議
	10:58	ドクターカー現着
	11:05	東京ガス現着
	11:09	埼玉県第4ブロック幹事消防本部（埼玉東部消防組合消防局）に電話にて情報提供
	11:24	救助工作車クレーンでの隊員吊り下げ進入救助により隊員2名が陥没穴内部に進入
	11:30	崩落により隊員2名が負傷 緊急退避
	11:36	救急八潮2増隊要請
	11:44	救急八潮2現着
	11:48	八潮はしご1増隊要請

日付	時間	内容
	11:53	八潮はしご1 現着
	12:12	民間企業の重機を要請する方針決定
	12:17	陥没穴内の酸素濃度が変化したため消防局の送排風機を設定
	12:30 頃	消防局で協定を締結している民間企業に重機派遣を要請 調整の結果災害現場を直接確認し判断するとの結果となる 活動方針協議 陥没穴内部への進入方法は八潮はしご1 を使用 ワイヤーロープの取付け等を実施予定
	12:34	八潮はしご1 で隊員3名が陥没穴内部に進入
	12:41	キャビン直上の推定2m×3mのコンクリート片が滑り落ち たためバスケットへ緊急退避
	12:47	陥没穴内部へ再進入 活動方針変更 キャビン付近への接近禁止
	12:52	推定2m×3mのコンクリート片が動いたため緊急退避
	12:55	陥没穴内部へ再進入
	13:00	要救助者応答あり
	13:13	埼玉県に火災・災害等即報第2報送付
	13:15	水が増加し水位が上昇したため退避 埼玉県下消防相互応援協定に基づき埼玉東部消防組合消防局 が先行調査隊の派遣を決定
	13:30	陥没穴内部へ再進入
	13:40 頃	東京電力要請
	13:47	陥没穴内部で崩落あり 緊急退避
	13:50	警防本部設置
	13:55	要救助者応答あり
	14:03	陥没穴内部へ再進入
	14:33	埼玉東部消防組合消防局の先行調査隊が現着
	14:46	1回目引き出し活動
	15:00	要救助者応答あり 陥没穴内部に流れ込む水量が増加
	15:18	ガス検知器が酸欠異常のため鳴動 緊急退避
	15:24	民間企業が保有するものを含めた6台の送排風機にて換気を行 いガス検知器の鳴動が止まる
	15:26	八潮救助1 フロントウインチへワイヤーロープを付け替え
	15:31	N T T 要請 2回目引き出し活動
	15:40	草加はしご1 と草加救助1 をワイヤーで連結させる

日付	時間	内容
	15:50	東京電力到着
	15:54	3回目引き出し活動
	16:07	25tクレーン車(1台目)到着 N T T 到着
	16:20	八潮市職員に空洞調査を依頼 調査結果により現場指揮本部設置場所付近の歩道下が空洞である可能性が高いと確認したため現場指揮本部の位置を変更した
	16:36	埼玉県に火災・災害等即報第3報送付
	16:42	4回目引き出し活動
	16:51	5回目引き出し活動
	16:57	25tクレーン車を陥没穴に近づける
	17:15	6回目引き出し活動
	17:19	陥没穴内部に進入
	17:34	キャビン直上のコンクリート片の滑りがあったため緊急退避
	17:43	7回目引き出し活動
	17:49	25tクレーン(2台目)現場到着
	18:28	陥没穴内部へ進入
	18時台	8回目引き出し活動
	19:07	70tクレーン車現場到着
	19:23	60tクレーン車現場到着
	20:00	9回目引き出し活動
	20:30	ワイヤーロープ2本が破断
	21:57	10回目引き出し活動
	23:35	現場にいた関係者と活動方針協議
01月29日	00:12	陥没穴内部の水量増加 臭気を確認
	00:16	陥没穴内部の水量が更に増加 陥没穴内部に設置していたガス検知器の警報鳴動
	00:17	3台のクレーン車のワイヤーロープが引っ張られる 消防隊員及びクレーン車オペレーター緊急退避
	00:18	飲食店看板前電柱沈み込み(同時刻に2回沈み込みあり)
	00:27	八潮はしご1バスケット先端カメラで陥没穴内部の状態を確認 水量が増加しトラックが垂直になっているのを確認
	00:31	現場にいた関係者と協議し活動方針決定
	00:51	陥没穴から蒸気様の白い気体を確認 ガス検知器の警報は0:16以降継続して鳴動している
	01:01	11回目引き上げ活動

日付	時間	内容
	01:03	陥没穴からトラックの荷台部分が引き上げられる 飲食店の看板とともに敷地の一部及び歩道が崩落し緊急退避 全てのクレーンオペレーターも車両から退避 70tクレーン車右前アウトリガー付近が陥没し宙に浮いている状態
	01:40	活動方針協議
	01:53	活動再開
	02:49	トラックをGLに降ろす
	03:12	陥没穴内部状況を確認 キャabinは目視出来なかった
	03:28	今後の活動について関係機関と協議 消防でできる活動がないと判断
	04:03	3:28の協議を踏まえ、活動は一時中断 部隊縮小し現場警戒隊配備
	06:00	第1回八潮市危機対策本部会議が八潮市役所で行われた 以降継続的に実施される
	06:45	埼玉県に火災・災害等即報第4報送付
	09:47	総務省消防庁から埼玉県下消防相互応援に基づく応援の実施 について助言を受ける
	10:22	民間企業が現場調査を実施 陥没穴内部の排水方法を検討
	10:40	埼玉県下消防相互応援協定に基づく応援要請
	10:45	東京消防庁へ近隣消防相互応援協定に基づく応援要請
	12:03	埼玉東部消防組合消防局指揮隊 到着
	12:08	東京消防庁即応対処部隊 到着
	12:26	さいたま市消防局指揮支援隊 警防本部到着
	12:39	さいたま市消防局 到着
	12:40	埼玉東部消防組合消防局・さいたま市消防局・東京消防庁に 現着後情報共有及び協議
	12:50	東京消防庁ドローンで陥没穴を空撮
	13:10	さいたま市消防局ドローンで陥没穴を空撮（計2回実施）
	13:49	現場指揮本部にて東京消防庁・さいたま市消防局・埼玉東部 消防組合消防局及び草加八潮消防局で状況確認及び活動について協議
	14:00	地中空洞確認作業（国土技術政策総合研究所・日本下水道事業 団・日本建設業連合会・埼玉県建設業協会）
	15:05	東京消防庁第9消防方面本部 到着 東京消防庁第6消防方面本部消防救助機動部隊 到着

日付	時間	内容
	15:54	応援消防機関とともに八潮はしご1バスケットで陥没穴内部を目視確認
	15:56	埼玉東部消防組合消防局から増隊要請の調整を行うとの連絡 さいたま市消防局（電源照明車）、第4ブロック救助隊4隊（埼玉東部消防組合消防局2隊・春日部市消防本部・越谷市消防局）
	15:59	東京消防庁保有の土砂吸引車の活用を考慮し土砂の土質を確認（採取）するため陥没穴内にバスケットを移動して作業を行う
	16:15	陥没穴直上にバスケットを移動してバケツを垂下するも土砂の塊が大きく硬いため泥水のみ採取した
	16:25	埼玉県下消防相互応援要請方針を変更 さいたま市消防局の電源照明車のみとし第4ブロック救助隊4隊（埼玉東部消防組合消防局2隊・春日部市消防本部・越谷市消防局）の増隊はなし
	16:30	陥没穴内の土質確認後の協議及び救助方法の決定 進入して手掘り不可となったら重機を使用した活動に切り替えていく方針
	17:00	東京消防庁隊員が陥没穴内部に進入。
	17:14	東京消防庁の進入隊員2名が崩落により緊急退避
	17:50	重機で道路陥没穴西側にスロープを作成する活動に切り替える 東京消防庁第6消防方面本部消防救助機動部隊・第9消防方面本部消防救助機動部隊・西新井補給車 現場引揚
	19:11	第1回現地対策本部会議 以後継続的に開催される
	20:04	油圧ショベル到着
	20:20	油圧ショベルがスロープ造成開始 地盤が固く掘削できず
	21:38	10mスライドアーム型油圧ショベル到着
	22:21	陥没穴西側のスロープ造成は地盤が固く掘削できないため断念
	23:08	10mスライドアーム型油圧ショベルの先端が陥没穴内部へ届かなかったため20mスライドアーム型油圧ショベルへ入替で対応する方針
	23:23	陥没穴上空から20mスライドアーム型油圧ショベルが活動する範囲にかけて活線が障害となるため切断について関係機関と調整
01月30日	00:05	20mスライドアーム型油圧ショベル現着

日付	時間	内容
	00:38	引き上げたトラック付近の地盤に凹みが出ていることを確認
	01:45	トラックを移動完了
	01:50	20mスライドアーム型油圧ショベルの活動は活線障害のため一時中断
	01:53	活線の切断について関係機関と再協議
	02:37	大規模崩落 一つの大きな陥没穴となった
	04:09	応援消防本部と今後の活動について協議
	05:30	現場関係者による合同調整会議を実施
	07:00	さいたま市消防局ドローン及び八潮はしご1で陥没穴確認
	11:19	埼玉県・消防・総合建設業者による協議 飲食店駐車場からスロープを造成する
	13:20	地盤調査開始（民間企業）
	13:40 頃	飲食店駐車場からスロープ造成作業を開始
	16:00	東京消防庁の近隣応援体制解除
	17:00	埼玉県下消防相互応援協定に基づく応援隊については自署待機とする
01月31日	15:00	現場にいる各機関の関係者と協議
02月01日	12:00	スロープ完成 陥没箇所のがれき撤去開始
	12:05	埼玉県下消防相互応援協定に基づく土砂監視センサー等を積載した部隊に応援要請
	14:00	埼玉東部消防組合消防局 到着
	14:06	さいたま市指揮支援隊が警防本部に到着
	14:50	陥没穴内部の水量増加 土砂監視センサー設置不可となる
	16:50	現場指揮本部で会議を実施 埼玉県から穴が広がっており水も止まらないため掘削やスロープ造成の作業が困難であるとの報告あり
	18:00	埼玉県下消防相互応援隊引揚げ
02月02日	09:15	現地対策本部会議 会議の結果現状のスロープを補強しつつ新たにスロープを造成する
02月03日	08:10	消防庁消防大学校消防研究センター職員到着 現場評価開始
	13:55	関係機関と現場視察開始
	14:30	現場視察後今後の救助活動について会議を実施
02月04日	01:00	陥没穴上部のボックスカルバートに撓みあり
	10:00	応援消防機関及び総務省消防庁と救出方法の会議実施
	11:35	消防機関で現地調査開始
	14:00	消防庁消防研究センター職員の現場評価を受ける

日付	時間	内容
02月05日	11:40 頃	埼玉県がドローンで下水管道管渠内を調査した結果、キャビンらしきものを発見したとの報告を受ける
	18:30	ドローンによる映像により下水道管渠内にキャビンらしきものを発見したと埼玉県知事発表
02月06日	12:15	消防機関の部隊長による会議
02月07日	13:00	消防機関の部隊長による会議
	19:40	重機によるボックスカルバート撤去
02月09日	07:27	重機の掘削作業とともに応援消防機関と検索活動開始
	07:52	救助活動の手がかりとなるものは発見できず検索活動終了
	09:50	消防機関の部隊長による会議で今後の消防活動について協議
02月10日	15:00	現地対策本部会議
02月11日	18:00	埼玉県第1回災害対策本部会議 キャビンらしきものはキャビンと断定 キャビンの中に人がいる可能性があるため埼玉県による土 木 的措置が開始される
04月28日	09:00	総務消防庁・応援消防機関・埼玉県警察本部と救助活動事前 訓練を八潮消防署にて実施
05月01日	03:36	応援機関及び埼玉県警察本部との偵察活動事前ミーティング
	05:16	偵察活動開始
	06:09	要救助者らしき姿を確認
	06:16	偵察活動終了
	07:40	偵察事後ミーティング
05月02日	03:30	応援機関及び埼玉県警察本部との救出活動前ミーティング
	05:15	救出活動開始
	05:22	キャビンドアを開放 要救助者発見
	06:33	キャビンから要救助者を救出
	06:54	要救助者を担架へ収容完了
	07:39	要救助者地上へ到着、救出完了
	08:10	救出活動終了